

令和 7 年度第 3 回田村市公共交通活性化協議会議事概要

| | |
|---|---|
| 日 時 | 令和 7 年 1 2 月 1 9 日（金）～令和 8 年 1 月 1 3 日（火）（書面開催） |
| 場 所 | — |
| 議事事項 | （１）地域公共交通確保維持改善事業に関する一次評価案について |
| <p>概 要</p> <p>1 議事</p> <p>（１）地域公共交通確保維持改善事業に関する一次評価案について</p> <p>事務局より説明資料送付</p> <p>質疑あり。</p> <p>→意見一覧のとおり 承認</p> <p>2 報告</p> <p>（１）第 2 次田村市地域公共交通計画の策定について</p> <p>質疑あり。</p> <p>→ 意見一覧のとおり</p> <p>（２）田村らくらくタクシー利用者アンケート結果について</p> <p>質疑あり。</p> <p>→ 意見一覧のとおり</p> | |

令和7年度第3回田村市地域公共交通活性化協議会意見等

【議事事項】

| No. | 質問・意見 | 回答 |
|--------------------------------|--|---|
| (1)地域公共交通確保維持改善事業に関する一次評価案について | | |
| 1 | らくらくタクシーの存在や制度内容を認識していない市民の方も多 い為、引き続き情報発信とその工夫をお願いいたします。 | 広報紙等による情報発信や地域住民等を対象とした制度周知 と利用方法等の説明を行い、利用促進を図ってまいります。 |
| 2 | 要周知拡大。 | 同上 |
| 3 | 利用目標人数を、大越と滝根でそれぞれ算出したのか。記載して ほしい。 | 地域内フィーダー系統確保維持費の認定を受けている2系統 (大越と滝根)の事業評価を行うためです。 利用目標人数については、直近3年の平均伸び率を用いて算 出しています。 |
| 4 | 今後の改善点について、運行内容の継続見直しは具体的にどの ように行うのか。 | ダイヤ改正等により鉄道や路線バスの接続性が悪くなること がないよう、継続して運行内容を見直し、利便性の向上を図る よう改善してまいります。 |

【報告事項】

| No. | 質問・意見 | 回答 |
|-----------------------------|--|--|
| (1)第2次田村市地域公共交通計画の策定について | | |
| 1 | 公共交通計画と都市計画は一体の為、田村市の魅力発信や活 性化を考えている俯瞰的な考えを持つ事業社に委託したいと考え ます。 | 田村市の魅力発信や活性化を見据えた俯瞰的な視点を持つ 事業社となるよう、事業者募集の要件を検討してまいります。 |
| 2 | 地方創生、地域活性化、まちづくりの視座から田村市地域公共 交通計画の策定。 | 同上 |
| 3 | 自動運転バスの実用化も見据えた施策。 | 事業者等へのヒアリングやアンケート等実施し、自動運転バス を含めた施策を検討してまいります。 |
| 4 | 公共ライドシェア導入に向けて検討が必要。 | 事業者等へのヒアリングやアンケート等実施し、公共ライドシ ェアを含めた施策を検討してまいります。 |
| 5 | 公募型プロポーザル実施要領の主な内容はどのようなものか。 | 公募型プロポーザルを実施するための参加資格要件、手続き 及びスケジュール等となります。 |
| 6 | 公募型プロポーザルにより業者選定も良いですが、地方に合った 計画を、対象事業者との改善案などの取組をのぞみます。 | 田村市の地域特性に沿った計画となるよう、対象事業者を含 め各種事業の改善案などを検討してまいります。 |
| (2)田村らくらくタクシー利用者アンケート結果について | | |
| 1 | 概ね好評との印象ですが、次回は自由記述のサンプル数を増や す工夫をして頂ければと思います。この項目が非常に改善のヒ ントになる為。 | 次回アンケートを実施する際は、自由記述のサンプル数を増や すなどの工夫を行い、改善に繋がる意見を得られるよう努めま す。 |
| 2 | アンケート結果をもとに、さらに使いやすさ等のレベルをあげて頂 ければと思います。 | アンケートの結果を参考にしながら、田村市地域公共交通活 性化協議会の意見を踏まえ利便性向上に努めます。 |
| 3 | アンケートの結果改善できる点は、改善してほしい。 | 同上 |
| 4 | らくらくタクシーを利用しない運転免許証非保有者等に利用しても うための方法を検討してほしい。 | 広報紙等による情報発信や地域住民等を対象とした制度周知 と利用方法等の説明を行い、利用促進を図ってまいります。 |
| 5 | 滝根地区の人の回答が少ないのはどうしてか。 | 滝根地区のみならず、常葉地区及び都路地区の回答が少ない 状況でした。次回アンケートを実施する際は、各地区の利用者 から回答を得られるよう実施方法を改善いたします。 |
| 6 | 「自由記述」に書かれていることについて、今後対応可能なものは あるか。 | 「利用方法が分からなかった」という意見について、利用方法の 周知を図ってまいります。 運行内容に関する意見については、公共交通活性化協議会に おいて協議いただき、他公共交通との接続性や交通事業者等 と協議及び調整が必要になりますので、対応の可否について 検討してまいります。 |
| 7 | 身体障害者手帳他を所持している人の半額は過保護すぎる。 町内300円のところ100円で乗れると言って、他の人がその時に乗 れないのが数多くある。 | 運行内容について、公共交通活性化協議会において協議いた だき承認いただいた内容となっております。 変更するには、公共交通活性化協議会にてご協議いただく必 要がございます。 |
| 8 | 磐城常葉駅は船引町だが 常葉⇄船引(磐城常葉駅)300円 都路⇄船引(磐城常葉駅)500円 である。 令和8年度の事業計画に変更していただきたく思います。 | 同上 |